

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	外部団体育成事業		事業コード	0538
担当課等	所属名	商工観光部 商工課	担当係名	
	課長名	商工観光部商工課長 沼田 秀彦	担当者名	熊谷 朋宏
			電話番号	3713

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	まさに活力を与える工業の振興	コード 2
	基本事業	中小企業の経営力の強化	コード 4	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 工業振興事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 61年度～)					
事務事業の概要	市内の工業団地が行う催事開催費用の一部を負担し、工業団地への理解とものづくりに対する市民の認識を高める。					
根拠法令等	無し					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡手づくり村開村(昭和61)、盛岡中央工業団地操業(平成3～4)後、市民の各工業団地への理解を深めていただくことを目的で開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民からは、生活に直結した製品やものづくりに対する理解が深まるとの声があるほか、就職先・雇用の確保の場として重要であるとの声がある。また、玉山区企業等懇話会は昨年3月解散しているが、盛岡商工会議所玉山支所からは、区内における企業間の情報交換を行える何らかの組織が必要ではないかとの声が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
長い間、工業系事業所が少なく、商業系事業所が多い当市において、将来的にバランスの良い産業の発展を図り、また雇用の場を提供するために、市民にまず工業やものづくりに対する理解を深めていただき、新たな産業振興の方向性について考えていただくことが必要であり、本事務事業は今後も継続する必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	負担金の支給先:盛岡中央工業団地まつり実行委員会、盛岡手づくり村工房まつり実行委員会(盛岡手づくり村は工業団地としての位置づけでもある) 対象:まつり参加企業 まつりへの来場者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. まつり参加企業等(各まつり合計)	単位	団体
				B. まつり来場者(各まつり合計)	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 実行委員会等への出席参加 まつり当日の運営補助 負担金支出の事務 懇話会への出席参加 補助金支出の事務 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・実行委員会等への出席参加 ・まつり当日の運営補助 ・負担金支出の事務 ・玉山区内での企業情報交換組織の設立検討	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 実行委員会、ワーキング会議等への出席	単位	回
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡中央工業団地及び盛岡手づくり村の各企業の活動の活性化を図る。 各まつりの活性化を図ることを通じて、各まつりが目的としている工業団地に対する市民の理解、地場産業への市民の周知等を深める機会とする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. まつり参加団体数の前年比較 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B. まつり来場者数の前年比較 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	魅力ある商品やサービスを提供できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	経営改善等研修会の参加者数(商工会議所、商工会など)(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	まつり参加企業等(各まつり合計)	団体	111	55	111	42	111	111	年度
対象 指標B	まつり来場者(各まつり合計)	人	17832	16752	18000	9731	18000	18000	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	実行委員会、ワーキング会議等への出席	回	8	5	8	7	8	8	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	まつり参加団体数の前年比較	%	84	50	200	76	264	100	年度
成果 指標B	まつり来場者数の前年比較	%	92	94	107	58	185	100	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	440	440	440	280	440	440	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	440	440	440	280	440	440	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	440	440	440	280	440	440	*****
	延べ業務時間数	時間	80	80	80	80	80	80	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	320	320	320	320	320	320	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	760	760	760	600	760	760	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 本事業は、市内の工業団地を市民に周知し、工業やものづくりに対する市民の理解を深めることにより、中小製造業等の振興を図るものであり、政策体系に合致している。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 中小企業振興策の一環として行っているものであり、市が応分の負担を行っているものである。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 本事業は、主に既存工業団地の企業や組合を対象に実施しているものであるが、玉山区内には企業間の情報交換・連絡組織がなく、地区の産業振興を図る上で何らかの団体を設立し、企業の連携を図ることは大切である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 本事業は、工業団地やものづくり、地場産業、地場産品に対する市民の理解を深めるために行っているものであり、現状で妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 事前PRを十分に行うことにより、より多くの市民が参加できるよう誘導するとともに、併せて地場企業への理解、地場産品の利用頻度を高め、愛着等を深める活動が必要である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 工業団地が行っている催事は、市民に定着しているほか、工業団地内企業にとって、絶好のPRの場であることから、廃止または休止した場合の影響が大きいものと思われる。また、当市でも催事等の準備・実施を通じて、地域の企業とコミュニケーションや相互理解を図っており、廃止・休止はこれらの機会が減少し、市の産業施策遂行がスムーズにできなくなる恐れもある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成16、17年度に負担額を削減しており、これ以上の削減は、催事の開催そのものに大きな影響を及ぼすものと思われる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 催事の開催にあたり、市は必要最低限の打合せ協議や催事運営への支援としており、人件費の削減は困難である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 催事開催に当たり、参加中小企業は妥当であると思われる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 催事開催に当たり、参加中小企業も応分の負担を行っており、受益者の費用負担は妥当であると思われる。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 市民参加型イベントなど催事内容の工夫や新規催事内容の検討をする。団体が設立されていない区域での団体設立を検討する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 催事運営の中心となる企業の日常業務との調整及び予算の確保。主催団体自体で問題意識を持ち、課題を解決し、事業や会を発展させるという意欲を持続させること。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>製造業の振興を図るためには、市民の理解が基本であり、事業進展に向けた努力が必要である。盛岡中央工業団地では内部の実施に向けた意思統一が必要である。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>経営環境の厳しさはあるものの、盛岡中央工業団地では団地内の連携を図るとともに、玉山総合事務所や盛岡商工会議所玉山支所との連携を深め、創意工夫と企業との連携のもと、より市民の理解が増す事業内容を検討する。</p>							